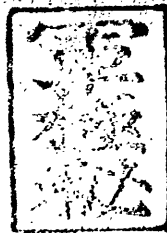


1150



自昭和十六年八月一日
至昭和十六年八月三日
特設電線敷設部
金星丸戰時日誌

作戰一般之部
金星丸



五 作戰經過概要

- 一 經過
- 二 人員現狀
- 三 傳達報告
- 四 參考
- 一 調查事項
- 二 戰訓
- 三 寫真

目次

一 経過

一 一般情勢

二 敵軍情勢

前月ニ同シ

三 任務編成配備

一 前月ニ引續キ船体兵器機関完備ヲ期スルト共ニトラック海上部隊哨戒隊指揮官所定ノ對潜掃蕩並ニ移動哨戒船團ヲ護衛ニ從事ス

二 前記任務續行中、処昭和十八年八月十五日(天原)四十一警附属解セシ南東方面艦隊付ニ編入サレ特設電線敷設船ニ変更サル只ニ特令アル迄從前通り哨戒任務

ヲ續行ス

三 至四日トリック海上部隊哨戒電令作第七三子ニ依リ
羽衣丸ト交代ニカカ哨区對潛掃蕩ニ從事ス

四 至一日トリック海上部隊哨戒電令作第七七子ニ依リ

哨区對潛掃蕩並ニ四根五ニ四番電ニ依リ飛團

護衛ニ第三三子驅潛艇ト共ニ從事ス

五 至二日トリック海上部隊哨戒電令作第八三子ニ依リ

下ノ北五ノ理ノ對潛掃蕩ニ三日以後イタ哨区ノ

移動哨戒四根電令六八子ニ依リ對潛掃蕩ニ從事ス

人員の現状
職員官氏名

区分職	主務官	代名	記事
艇長	全 敏	岸 本 信 一	
乗組	掌(航路)長	稻 垣 護	
"	分掌機曹長	中 村 愷 寛 男	
"	分掌機士	山 下 寶 貞 治 郎	八月七日吳鎮休三命 セリ退艇
"	機曹長	森 忠 義	八月八日乗組

下士官兵員數

区分	兵科	機科	衛科	衛生科	主計科	令計	記	事
----	----	----	----	-----	-----	----	---	---

<p>一五〇二四〇 王星丸 艇長</p>	<p>四根司令官</p>	<p>一四二四三五 王星丸 艇長</p>	<p>一〇〇八三〇 王星丸 艇長</p>
<p>一五〇二四〇 四根司令官 王星丸 艇長</p>	<p>上 日 下 57day 4下 王星丸 艇長</p>	<p>一四一六一〇 王星丸 艇長 二拓南丸 艇長</p>	<p>一〇〇九二二 王星丸 艇長 上 日 下</p>
<p>〇二五哨区ヲ撤シ船團護衛ニ向フセ。合同予定</p>	<p>四 番 艦 電 行動シテ護衛歸投スベシ</p>	<p>五二四番艦電 哨区ニ就ケ</p>	<p>三三番艦電 トミック海上部隊哨区ニ就ケ 王星丸八十日。八〇。イ。夕。哨区ニ就ケ</p>

<p>三七駆潜隊長 一七、一三〇</p>	<p>王星丸艇長 一七一三〇 A 489</p>	<p>トラック海上部隊哨戒隊信電令作第一号 王星丸準備出来次第出港四根信電令作 第一号護衛協力員施スベシ</p>	<p>線</p>
<p>一通司令</p>	<p>春島丸艇長 一六〇七五〇 遊</p>	<p>ソノB電令作第四八号 ソノフ連ヨシBニ編入王星丸春島丸 ヨ附属トス</p>	<p>線</p>
<p>王星丸艇長 一五一三二〇</p>	<p>四根参謀 一五一三三一 至遠潜隊長</p>	<p>一三〇。船團ニ合同護衛ヲ始メ 六番電</p>	<p>線</p>
<p>三七駆潜隊長</p>	<p>王星丸艇長 一五一〇二〇 ニ拓南丸艇長</p>	<p>三十八番電 トラック海上部隊哨戒隊信電令作第九号 ニ拓南丸ハ十六日〇八〇。イタ哨区ニ就ケ ニ王星丸ハ護衛終マシ次第帰投スベシ</p>	<p>無</p>

<p>五七駆潜隊司令</p>	<p>五七駆潜隊司令</p>	<p>五七駆潜隊司令</p>
<p>三三〇八一〇 王星丸 金城丸 五掃特</p>	<p>三三〇八一〇 王星丸 金城丸 五掃特 昭南丸</p>	<p>二〇一四三〇 二〇一五四〇 王星丸 金城丸 五掃特 昭南丸 四王散言司令 ト一掃</p>
<p>第一四号の護衛ニ従事スベシ</p>	<p>トトラック海上部隊哨戒隊電令作第八四号 ト二五昭南丸六掃特ハ三二日夜宣出港四根信電令 ト王星丸ハ航路上下矣以北五ノ理向 ト金城丸ハ西航路ノ西側五掃特ハ東側 ト昭南丸ハ三二日〇九〇〇哨区ヲ撤シ改投スベシ</p>	<p>一七一四五〇 一七一五二五 トトラック海上部隊哨戒隊信電令作第一二号 トトラック海上部隊哨戒隊信電令作第一〇号 中王星丸ヲ十五昭南丸ニ改メ 二〇一四三〇番電</p>
<p>線</p>	<p>線</p>	<p>無</p>

<p>五七駆潜隊司令 二五二二五</p>	<p>四根司令官 二四〇七五</p>	
<p>王星丸艇長 二五二〇九 羽衣丸艇長 上野</p>	<p>王星丸艇長 二四二五七 五七駆潜隊司令 P 4F P 9F</p>	<p>六掃特 号能発 喜照丸 各艇長</p>
<p>トラク海上部隊哨戒隊電令作第八五号 羽衣丸ハ二十六日。八〇〇(ニカ)哨区ニ就ケ</p>	<p>四根電令第六八号 鹿島(駆逐艦ニ佳又ヲ護衛)來ルニ十七日ハ〇〇日 Qニ向ケ北水道出撃針路九〇度ニ五哩、後一〇五 度速力一八節 哨戒隊指揮官北方哨戒艇ヲ以テ來ルニ十六 日〇六〇。以降鹿島入會令迄ハ莫ヨリ航路ト 一ツノ理向、對潛掃蕩ヲ海員施スベシ</p>	<p>ニ任務終了次第王星丸分イタ哨区ニ就ケ金城 丸五掃特ハ既投スベシ 三國丸ハ二十三日ニ了能代丸ト交代(ニカ)哨区ニ 就ケ</p>
<p>線</p>		<p>無</p>

<p>三九〇九四〇 三星丸 艇長 上野 長</p>	<p>二八一七〇〇 三星丸 艇長 上野 長</p>	<p>二七二一〇〇 三星丸 艇長 上野 長</p>	<p>二七〇九一〇 金城丸 艇長 上野 長</p>	<p>六六〇〇 三星丸 艇長 上野 長</p>
<p>二九一七二五 三星丸 艇長 上野 長</p>	<p>二八一七二四 三星丸 艇長 上野 長</p>	<p>二七二二二八 三星丸 艇長 上野 長</p>	<p>二七〇六一三 金城丸 艇長 上野 長</p>	<p>二六〇六三五 三星丸 艇長 上野 長</p>
<p>二九〇九四〇 番電 三星丸、準備完了成次第RRニ進ムベシ</p>	<p>二八一七〇〇 番電 本艇今後、行動ニ関シ指示ヲ得度</p>	<p>二七二一〇〇 番電 鹿島、會合ス対潜掃湯ヲ止メ帰途ニ就ク</p>	<p>二七〇六一三 番電 敵情ヲ得テ哨区(イダ)ニ就ク。五一五</p>	<p>二六〇六〇〇 番電 三星丸ハ任務終了ニテ帰投スベシ 〇六〇〇哨区ニ撤シ四根電令第百六八号ニ依リ對潜掃湯ヲ中止ス</p>
<p>線</p>		<p>海</p>		

五九九艇長

三〇〇九一五

上
P 2/F 5/B

三〇〇〇三

三〇〇九一五番電
本艇主機軸止備三約十日ヲ要スル見込ナリ
官房機密第一五〇〇六番ニ依ル電機總務
設艇ノ機軸替何ニスベキヤ本艇Pニ新發

無
線

四 参考

(一) 調査事項

(二) 戦訓

(三) 寫真

該當事項ナシ

三	二	一	日
警備隊中鎗地			在所
五二 〇六 五	五二 〇八 五	五二 〇七 五	午前 十時 日没 時
北 回 風 雲	北 回 風 雲	北 回 風 雲	天 風 風 象 氣
五二 〇八 〇	二二 〇九 五	二二 〇九 五	日没 時
南 西 晴	北 回 風 雲	北 回 風 雲	候 向 東 風 雲
隊 隊	道 地	四 根	一 般 任 務
隊 隊	上 部	ク ツ ラ ト	特 別 任 務
戰 備 作 業	警 戒 燧 泊	戰 備 作 業	經 過 概 要
隊 令 作 七 三 子 度 領	内 上 水 入 量	官 守 機 察 二 三 七 子 依 リ 捕 獲 網	記 事
	還 納		

大
作
戰
經
過
概
要
自
昭
和
十
八
年
八
月
一
日

八	七	六	五	四
南赤海対面掃蕩				
五〇二七〇 自艦	五〇二六四 西晴	二〇二六五 南西 自艦	二〇二七五 西 自艦	一〇二七八 南 自艦
五〇二七五 西 自艦	一〇二五三 西雨	二〇二六五 西 自艦	二〇二六五 南西 自艦	一〇二三五 西雨 自艦
革四艦隊根拠地隊				
トット海上海部隊哨戒				
警戒 泊	全 右	全 右	移動哨戒	對艦掃蕩 九三〇 出港
乗組 機内兵曹長 中沢水長退 予受領	トット海上部隊 哨戒隊 予受領			臨時指揮官 中沢水長 羽衣丸トット

一三	一三	二	一〇	九
潜對面海方北			地隊備警	地隊備警
二六 二七 四 晴	二六 二五 北 五	二六 二五 北 五	二六 二五 南 西	二六 二五 北 五
一〇 二七 南 東 晴	二〇 二五 北 東	二〇 二六 北 東	二〇 二六 南 晴	二〇 二八 北 晴
隊地據根四第 隊艦四第				
隊戒哨隊部上海クツラト				
会 右	對 潜 掃 蕩	對 潜 掃 蕩	戰 備 作 業	戰 備 作 業
			ト ラ ン ク 海 上 部 隊 が 隊 長 に 任 命 さ れ た と し て 時 時 に 乗 組 む	

八	七	六	五	四
警備隊			掃蕩	
五〇八〇 半晴	五〇八〇 曇	五〇七五 北東曇	五〇三〇 東曇	五〇五五 南東曇
二〇八五 曇	二〇八五 曇	二〇八〇 北東曇	五〇七〇 東曇	五〇七五 南東曇
隊	隊	隊	隊	隊
隊	隊	隊	隊	隊
隊	隊	隊	隊	隊
会	戰備作業	警戒碇泊	護衛終了	会
右	退避	変更サル	臨時來組	右
	山下機関	特設電線敷設	四十一警隊	受領

二 三	二 二	二 一	一 〇	一 九
北	海防	海防	地	備
二七三 〇	二五五 〇	二〇五 〇	二八五 〇	二七三 〇
二六五 〇	二六三 五	二〇五 〇	二七三 〇	二七三 〇
隊地據根四第隊 艦四第				
隊戒消隊部上 港ノツト				
移動哨戒	對全地 替掃蕩	對全地 替掃蕩	斗訓練 對空戰	戰備作業
	第八四号受給	トラツク受給	衣川一機退	

二八	二七	二六	二五	二四
備警	蕩	掃 <small>二天</small>	對	海
五七三 南半 東晴	一五七 南 西	五〇八 南 西	二〇六 東	五〇七 南半 晴
五七三 南 東	一五六 南 西	二八四 北 西	二〇六 南 東	五〇六 北半 西晴
隊地據根四第隊艦四第				
隊戒哨隊部上恣 <small>クツヲト</small>				
警戒 〇七〇 錨地 投	海 〇七〇 北水道 假 <small>右</small>	四根 電令 六八号 依 對 蕩	会 右	移動 哨区

三一	三〇	二九
地 錨 沖 隊		
二七五 〇 北東	二六五 四 雨	五〇八 〇 南東
五七三 〇 北東	二五〇 〇 雨	五二七 〇 晴
隊	河 監 山 第	隊 隊 根 四 第
隊	隊 地 據 根 四	隊 部 上 志 クツヲト 哨
全	全	戰 警
		備 戒
		作 礎
石	石	業 泊
		業 補
		充 依
		換 檢

船体 自昭和十八年八月一日

一 臨 戰 準 備

二 船体附屬物損傷亡失

三 改造修理新設

四 附屬物積込積卸

五 保存手入

操縦装置各部手入
甲板発銃部除錆塗油
烹炊所浴室廁各倉庫清掃整頓

該當事項ナシ

王 景 九

兵器自昭和十八年八月一日
至昭和十八年八月一日
王日五丸

- 一 臨戰準備
 - 二 主要兵器故障
 - 三 改造修理新設
 - 機雷科
- 該當事項ナシ

還納兵器	月日	記	事
西式捕獲網二隻或組	八、二	官外機密第三三三三三	依格價受庫部部部部部部

四 主ナル消耗兵器
五 保存平入
一 砲術科
二 機雷科
三 航海科
四 通信科
五 運用科

該當事項ナシ

艦中平入 乾電池平入
爆雷平入 機雷發射器記録器増幅器
航海兵器並光學兵器平入
通信機並蓄電池平入
所蓄面平入

TATT

1122 1122

機
関
自
昭
和
十
八
年
八
月
三
日
特
設
電
線
敷
設
所
玉
星
丸

目次

一、兵器（電気）

(1) 臨戦準備

(2) 主要兵器故障損

(3) 修理改造新設

(4) 主ナル消耗兵器

二、機関

(1) 臨戦準備

(2) 機関故障損

(3) 修理改造新設

(4) 主要作業

三、機関動作

五 主機使用時數

六 鑿使用時數

七 補正機使用時數

八 臭水搭載表

九 燃料消費消耗品搭載

一〇 燃料消費消耗品費額

一一 總閱待給

六兵器(電氣)

- (一) 修理機銃
- (二) 修理機銃
- (三) 修理機銃
- (四) 修理機銃
- (五) 修理機銃
- (六) 修理機銃

機関

- (一) 修理機銃
- (二) 修理機銃
- (三) 修理機銃
- (四) 修理機銃
- (五) 修理機銃
- (六) 修理機銃

修理機銃	一個	六八三九	六八四一	修理甚多	施行場所
修理機銃	一個	六八三七	六八三八	修理甚多	施行場所
修理機銃	一個	六八三九	六八四一	修理甚多	施行場所

該當事項ナシ

主要作業

作業

期間	所在	作業
一八八一	トラック	潤滑油、軽油、運搬搭載
一八八九	右	主機械全角、動弁分解、手入、外鎖、掃除、鑿、水、マロー
一八八〇	右	主機械ニ燃料、水ヲ分解、検査、主機械直結、海水、ヲ検査、航、汽、機
一八八七	右	主機械ニ三番給排氣弁掃除、手入、五番起動弁ヲ帶替、壯、装、完、電、機、手、入
一八八八	右	主機械ニ三番給排氣弁分解、手入、五番電機燃料、水、ヲ調整、清、水、積、入、電、路、手、入
一八八九	右	主機械ニ三番給排氣弁調整、給排氣弁調整、潤滑油、澆、器、掃除
一八八三	右	主機一番、ピストン、抜、出、滑、油、部、尚、全、檢、査、一、五、四、番、電、機、機、械、總、合、解、手、入

三機関ノ動作

任	抜	投
地	月	日
名	日	日
ト	ハ	ハ
ラ	一	一
ク	八	八
全	六	六
止	八	八
一	一	一
全	二	二
止	四	四
北	八	八
水	二	二
道	七	七
途	八	八
上	二	二
ト	八	八
ラ	二	二
ッ	八	八
ク	二	二
ク	八	八

行動用米價(各埠市冬) 延	滑油		用油		行動		燃料		總航	運轉時數 (時分)	強速以上運轉時數 (時分)	原速
	合	外部油	合	内部油	一磅内部油	一磅外部油	一磅重油	一磅輕油				
二〇〇	一四八〇	一四八〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	七二〇	九六〇三	〇	〇
二一〇	一八四〇	一八四〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	九〇四	三三〇五	〇	九五
九〇	九〇〇	九〇〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	四三五	五八一〇	〇	〇
一四〇	一三三〇	一三三〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	六七五	八八三〇	〇	〇
一〇	三〇	三〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	一三〇	一一三〇	〇	〇
六五〇	五五七〇	五五七〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	一八五	三六六三	〇	〇
四二八〇	四七五三〇	四七五三〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	一二七	三四七一	〇	〇

時間(時分)	機内待機	総航程	運轉時数 (時分)	期前	赤飯式單動魚氣噴油平ムセル機	補給水量 (磅)	平均吃水 (米)	最近出渠年月日
航海中	碇泊中	二七四四・八	0	1	一基	八一		昭和十八年六月二十九日
			0	2		二九〇		
			14-10	4		二九五	二二四	
			24-0	5		三〇七五	五〇	
			24-0	6		六九七	六八	
			24-0	7		六九七	六七	
			9-53	8		六九〇	六七	
			0	9		三〇〇	三〇〇	
			0	10		二四三〇	二四三〇	
			18-24	11				
			24-0	12				
			24-0	13				
			24-0	14				
			24-0	15				
			7-37	16				
			0	17				
			0	18				
			0	19				
			0	20				
			16-57	21				
			24-0	22				
			17-18	23				
			23-12	24				
			24-0	25				
			24-0	26				
			16-58	27				
			1-38	28				
			0	29				
			0	30				
			三六六・三	計				
			二四四七・一三	年度累計				

四. 主機械使用時数

一基

五罐使用時數

項目	補助罐制式及數	橫置式	滅火	重油	六式	一罐
1	2	3	4	5	6	7
2	2	3	4	5	6	7
3	2	3	4	5	6	7
4	2	3	4	5	6	7
5	2	3	4	5	6	7
6	2	3	4	5	6	7
7	2	3	4	5	6	7
8	2	3	4	5	6	7
9	2	3	4	5	6	7
10	2	3	4	5	6	7
11	2	3	4	5	6	7
12	2	3	4	5	6	7
13	2	3	4	5	6	7
14	2	3	4	5	6	7
15	2	3	4	5	6	7
16	2	3	4	5	6	7
17	2	3	4	5	6	7
18	2	3	4	5	6	7
19	2	3	4	5	6	7
20	2	3	4	5	6	7
21	2	3	4	5	6	7
22	2	3	4	5	6	7
23	2	3	4	5	6	7
24	2	3	4	5	6	7
25	2	3	4	5	6	7
26	2	3	4	5	6	7
27	2	3	4	5	6	7
28	2	3	4	5	6	7
29	2	3	4	5	6	7
30	2	3	4	5	6	7
31	2	3	4	5	6	7
計	60	時數	使用	內部	計	年度累計
	0	度數	掃除	罐水		
	0	度數	取換	罐水		
	481	時數	使用	內部	計	年度累計
	4	度數	掃除	罐水		
	4	度數	取換	罐水		

六補助機械使用時數

項目	制式及數	年度累計
1	二基	
2	三基	
3	二基	
4	一基	
5	二基	
6	一基	
7	二基	
8	一基	
9	二基	
10	一基	
11	二基	
12	一基	
13	二基	
14	一基	
15	二基	
16	一基	
17	二基	
18	一基	
19	二基	
20	一基	
21	二基	
22	一基	
23	二基	
24	一基	
25	二基	
26	一基	
27	二基	
28	一基	
29	二基	
30	一基	
31	二基	
計		年度累計

種別	種別	種別	種別	種別	種別	種別
0	0-15	0-20	0-25	2-70	0	0
0	0-15	0-20	0	2-20	0	0
0	0-45	0-20	0-20	2-50	0	0
0	0-10	0-10	0-10	0-10	0	0
0	0-10	0-20	0-30	0-35	0	0
0	0-05	0-20	0-25	0-50	0	0
0	0-05	0-10	0-25	1-20	0	0
0-50	0-25	0-20	0-15	2-25	0	0
0	0-15	0-25	0-15	2-05	0	0
0	0-10	0-20	0	2-55	0	0
0-20	0-05	0-20	0-40	2-12	0	0
0	0-10	0-20	1-40	0-50	0	0
0	0-15	0-20	0-10	1-15	0	0
0	0-50	0-20	0-25	0-50	0	0
0	0-10	0-20	0-15	2-35	0	0
0-15	1-010	0-10	0-50	2-01	0	0
0	0-05	0-15	0	2-50	0	0
0	0-30	0-10	0	2-50	0	0
0	0	0-15	0-50	2-10	0	0
0	0-15	0-20	0	2-50	0	0
0	0-30	0-05	0-20	0-25	1-20	15-20
0	0-10	0-15	0-15	0-50	0	0
0-20	0-35	0-25	0-15	2-40	0	0
0-20	0-10	0-20	0-50	2-0	0	0
0	0-10	0-20	0-30	1-50	0	0
0	0	0-15	0-10	2-55	0	0
0-15	0-35	0-20	0-20	3-05	0	0
0-20	1-15	0-25	0-25	0	0	0
0	1-30	0-30	0	0	0	0
0	0-30	0-20	0	0	0	0
0	0-30	0-15	0	0	0	0
三十一	一	一五	一三	五八	二八	〇
一〇	一三	一四	一〇	一五	一五	〇
七	一	一三	一三	七三	六六	二六
三	一	一三	一三	三〇	三〇	七一
一	一	一三	一三	一三	一三	一四
〇	一	一三	一三	一三	一三	一四

七、眞水搭載表

期	眞水		期	眞水		計	計
	搭載	消費		搭載	消費		
1	0	0	1	0	0	0	0
2	0	0	2	0	0	0	0
3	0	0	3	0	0	0	0
4	0	0	4	0	0	0	0
5	0	0	5	0	0	0	0
6	0	0	6	0	0	0	0
7	0	0	7	0	0	0	0
8	0	0	8	0	0	0	0
9	0	0	9	0	0	0	0
10	30.0	17.5	10	0	0	30.0	17.5
11	0	0	11	0	0	0	0
12	0	0	12	0	0	0	0
13	0	0	13	0	0	0	0
14	0	0	14	0	0	0	0
15	0	0	15	0	0	0	0
16	0	0	16	0	0	0	0
17	0	0	17	0	0	0	0
18	30.0	15.0	18	0	0	30.0	15.0
19	0	0	19	0	0	0	0
20	0	0	20	0	0	0	0
21	0	0	21	0	0	0	0
22	0	0	22	0	0	0	0
23	0	0	23	0	0	0	0
24	0	0	24	0	0	0	0
25	0	0	25	0	0	0	0
26	0	0	26	0	0	0	0
27	0	0	27	0	0	0	0
28	0	0	28	0	0	0	0
29	0	0	29	0	0	0	0
30	40.0	21.0	30	0	0	40.0	21.0
31	0	0	31	0	0	0	0
計	129.0	63.0	計	37.0			
	九六三〇	五〇六二		四五五七			

燃料潤滑油消費品搭載

系屑 (古綿布等含念) 恥	潤滑油			燃料			搭載場所	月	日
	二號外部 二號外部 二號外部	二號内部 二號内部 二號内部	一號内部	輕	三號 二號 一號	二號 一號			
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	トシツク	ハ	一
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	全	ハ	九
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	全	ハ	一
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	共	ハ	九
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	上	計	〇
六五〇〇〇	四一〇〇〇	〇	〇	四〇〇〇	一〇八〇	〇	一九〇	年度	〇
				一〇〇〇〇	一〇〇八〇	三〇〇	一四八〇	累計	

九燃料油滑油消耗品費額

期	主要燃料庫量 (懸)	行動用		平常		燃料		社又急	外部	滑油
		運轉用	一號	二號	三號	輕	行動用			
七八月一日至八月三十一日	四〇〇	一八五	〇	一八八	〇	〇	一八〇	七八〇	〇	〇
計	一八五	〇	三八	一八八	〇	〇	一八〇	七八〇	〇	〇
年度累計	一三七、五	二六四、〇	二五、一	一五、三	四、八	〇	一〇八、〇	六〇、一、〇	〇	四七五、三、〇

糸 支綿布 合 (計)	(立)			(立)		
	合		合	合		合
	平常用	行動用	平常用	一號内部礦油	二號内部礦油	三號内部礦油
九五〇	三〇〇	六五〇	二〇〇	一〇〇	一〇〇	五七四
九五〇	三〇〇	六五〇	二〇〇	一〇〇	一〇〇	五七四
七二五	二九七	四二八	五六五	三七〇	一〇五	三五六

一〇、機関待機

記事	磯泊中			航海中			主機械制式及數
	二時間待機以下	一時間待機	三十分待機	即時待機	三十分待機	一五分待機	
待機	一六六一三五	〇	〇	〇	二二一四〇	一〇七	自八一八至二八三
	六六一三五	〇	〇	〇	二二四〇	一〇七	計
	一四六八一〇四	〇	〇	〇	一四八一三四	一三六一四〇	年度累計

其 他	機 関	兵 器	船 務	種 別
修理製 作業 修理製 作	銅器ツキ 削製作 機関ツキ 削製作 探知機同 蓄電池充 電用電氣 抵抗機取 作	五層塔電 機指圧器 弁々修 理諸機 械	十 十	金 五 木 五
十 二	十 三	十 三	十 三	

一 摘要

工作 自昭和十八年八月一日特設電線敷設工日星丸
至昭和十八年八月五日

(一) 臨戰準備
(二) 修理改造新設
(三) 艦内工作

該當事項ナシ

工数	細別	種別
6	治鍛	金
0	杖機	
3	上仕	
3	接合金板	
0	造鑄	工
10	平均工数	
12	員人延	
0	水潜	
0	具木	木
0	体船	
0	平均工数	
0	員人延	

木工	金属	種別
0	0	汽航
0	0	術砲
0	1/1	雷水
0	0	信通
0	0	用運
0	5/5	関機
0	0	作工
0	0	務醫
0	0	計主
0	6/6	詐

二参考
 (一) 艦内工作件数 (要件数)
 (二) 要件数

品名	種別	修門材料	修門材料	修門材料	品名	種別
乙棒銅	銅	0	0	個	鋼具道	鋼
丁全		0	0	個	鋼	
乙全		0	0	個	鋼	
丙全		0	0	個	鋼	
甲板銅		0	0	個	鋼	
丁全		0	0	枚	鋼板	
丙全		0	0	個	鋼板	
丁全	材					真
		0	0	個	棒	
鐵銀		0	0	個	棒	
鐵鉤		0	0	個	棒	
鐵白		0	0	枚	板	
糊付鐵		0	0	個	棒	
砂糊		0	0	個	棒	
		0	0	個	棒	

三疆内工作材料費額
 小金屬材料(修理用材料)

修 用 材 料	品 名	注 別	計 額
〇〇	枚 板キリブ	具	〇〇個
〇〇	板 鉛		〇〇
〇〇	板 鉛		〇〇
〇〇	板 鉛		〇〇
〇〇	錫	他	〇〇枚
〇〇	銅	釘 類	〇〇
〇〇	銅 釘		〇〇
〇〇	銅 釘		
〇〇	銅 釘		〇 10 瓦
〇〇	銅 釘		〇 〇 瓶
〇〇	銅 釘		〇 〇 〇
〇〇	銅 釘		〇 〇 〇
〇〇	銅 釘		〇 〇 〇
〇〇	銅 釘		〇 〇 〇
〇〇	銅 釘		〇 〇 〇

種別	品名	呼稱	需用材料	修理用材料	種別	品名
角材	工松角	酒	〇	〇	板材	工松角
	全	乙	〇	〇		全
	全	丙	〇	〇		全
	全	丁	〇	〇		全
	全	角杉	〇	〇		全
	全	乙	〇	〇		全
	全	丙	〇	〇		全
丸太材	丸杉	〇	〇	板材	丸杉	
	丸	〇	〇		丸	
板材	杉板	〇	〇	板材	杉板	
	全	丁	〇		〇	全
	全	戊	〇		〇	全
	全	庚	〇		〇	全
	全	板松	〇		〇	全

(四) 非金属材料 (修理用材料)

1190

修理用材料	此品材料	洋 稱	品 名	種 別	修理用材料
○	○	枚	己板類		○
○	○	"	庚 全	板	○
○	○	"	辛 全		○
○	○	"	壬 全		○
○	○	"	壬板摺		○
○	○	"	癸 全		○
○	○	"	板樹証	材	○
○	○	"	戊 全		○
○	○	"	乙板摺		○
○	○	"	甲板子硝	硝	○
○	○	"	乙 全	子	○
○	○	"	丙 全	類	○
○	○	証	クツラ		○
○	1	立	特ホ ル=ルア		○
○	○	証	テ パ		○